

関西電力株式会社社長

森 詳介様

## 美浜 3号事故書類送検に関する公開質問状への 回答拒否に抗議します 過失致死傷事件を起こした貴社の責任について 真実を語って下さい

若狭連帯行動ネットワーク

私たちが2月28日に提出した公開質問状に対し、貴職は3月2日、広報を通じて「今回の質問状には回答できません。これに関する面談もできません。」と電話回答してきました。私たちは、貴職によるこの対応に嚴重に抗議します。

福井県警敦賀署捜査本部が2月26日に行った書類送検の内容には新たな事実関係が含まれているようであり、一部のマスコミを通じてその一端が報道されています。その中でも、事故の6日前、8月3日に配管減肉に関する管理指針を保安管理規定に盛り込んだという事実、事故の1年2ヶ月前、2003年6月に日本アームから減肉管理の点検箇所倍増を提案された若狭支社が具体的データの提示を求め、7月頃には破断部位を含む未点検箇所700箇所が報告されていたという事実が新たに浮上しています。

これらの事実によれば、若狭支社の担当責任者は「破断配管が28年間未点検である」ことを事故の1年2カ月前には知っていたと推定されます。また、若狭支社長や原子力本部長も、事故6日前には、未点検箇所の余寿命が10年以上のマイナスになっており、即刻の取替が必要であることを認識し、余寿命を求めて配管の点検・取替時期を適切に管理するよう定めた減肉管理指針が厳守されていないことに気づき、保安管理規定に急遽盛り込んだ」のではないかと推定されます。

私たちの2月28日付け公開質問状では、これらの事実関係を問うています。今回に限って「回答しない」というのは、貴職が事実関係を認めたと判断しても良いのでしょうか。質問状提出からわずか3日目に、電話であわてて回答拒否をしてくるというのも異常です。貴社は自社に不利な事実について何も語らないことで真実を隠そうとしているとしか思えません。5名が亡くなり、6名が重軽傷をおうという悲惨な事故を起こしておきながら、事実を語ろうとしない貴社の姿勢には怒りを覚えます。遺族もこれでは納得できません。

美浜3号事故について真実を語ろうとしない貴職に強く抗議します。

県警と検察による真相解明に全面的に協力してこそ貴社の社風の重大な欠陥が明らかになり、根本的な解決に進めるのです。美浜3号事故以降も、貴社の何十年も続く根深い不正や品質保証システムの欠陥がいくつも明らかにされています。貴社が1年前に行った協力会社社員2200人へのアンケート調査でも、40%以上が「対話活動強化の効果」が「十分とはいえない」、「ほとんど上がっていない」と回答しています。貴社の社風は根本的には何も変わっていないと言えます。その根元的な原因は貴職の真実を隠そうとする姿勢にあると言わざるを得ません。

再度強く求めます。2月28日付の公開質問状に真摯に文書回答して下さい。そして、事故の真相解明に全面的に協力して下さい。美浜3号事故に関する貴社幹部の責任について、襟を正し、自ら明らかにして下さい。